

届けますっ! 大和魂 2019年12月 Vol.33

台風19号で被災された皆様、並びにそのご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



御祈禱などで使用する刀剣を、弊社で何度かご購入いただきました。その時に、神道のお話を聞き、とても興味が湧いてしまい… 神社へ訪問させていただきました!!



かず みなしんとう いのおかゆういち
お客様の和源神道 猪岡鷹譲様です。(肩書: 宇多源氏秀綱流二十八世)

和源神道の歴史

平安中期宇多天皇の子の敦実親王よりはじまりとされ、近江佐々木荘(滋賀県)に居を構え、佐々木氏を名乗り、鎌倉初期に備後へ行く。南北朝時代に鼓ヶ岡(福島県)に城を築き鼓と号するようになる。幾多の戦乱を乗り越えるも、関ヶ原では西軍方であったため領地を失う。江戸初期に備中に移り地名を元にして、猪岡氏を名乗り、神道・陰陽道・密教などにも通じ、幾度となく神通力を発揮し、天災や戦乱を乗り越えるにおいて加護を得たそうです。猪岡様は、それらを元とし、研究および師についての修行を経て現在、和源神道に伝承をまとめている。

厄払い体験

優しく出迎えていただき、厄払いをして頂けるとの事!! お言葉に甘え、お祓いをして頂きました。



なんか、凄い身体が軽くなった気がするわ~

手を併せる事で、不思議と心が落ち着き、温かい気持ちになりました。

巫女さん・狩衣体験

減多に着る事ができない、巫女さんと狩衣を着させて頂きました。



意外にも、社長が着ると違和感がなく…とても似合っていました。本人も大満足で楽しんでおりました。貴重な体験をさせてもらった後、お話を伺いました。

古式の巫女さん衣装は裾が長いそうです!!
足が短い僕ではありませぬ!(笑)

*1) 平安時代以降の公家の普段着。ももとは狩の時に着用したのでこの名前がついた。活動的であることから次第に普段着として定着した。明治時代以降には、神職の常装となった。

そのお話のつづきはP4へ>

表紙からのつづき↓



御祈禱の際になぜ刀を使われるのでしょうか?

猪岡様: 深い御祈禱の場合、神力と自力の波長をかなりのレベルで合わせなければならぬのですが、霊障などによって相当な邪魔が入ります。太刀を用いることによって邪霊の邪魔がかなり軽減されることが多いです。家伝に言葉を借りると「良い女と善い刀は半生をかけて探せ」と。昔から家にも幾振りか有るのですが、とある段階のお祓いをするので刀を暫く休ませる必要があるため、ある程度の数が必要です。

全てのお祓いに刀を使用されるのでしょうか?

猪岡様: すべてのお祓いに使用することはありません。特別に必要な場合のみ使用します。お祓いにも求められる種類があるので。祈願者(参拝者)の方の祈禱で使用することは少ないですね。祈願者へのお勤めであれば、地鎮祭(特別な場合のみ)や特別な家祈禱での祈禱、また霊障が強い方の祈禱、帯剣が必要と予感される場合に太刀を帯びて御祈禱をお勤めします。



今まで、刀から感じた事などがあれば教えていただけますか?

猪岡様: 刀がどのように振って欲しいかを語りかけてきたとき、代々の持ち主が鍛錬している姿が見えて、その方達と一瞬同調した体験は驚きました。手入れをして欲しいようにしているのが感じられたときには可愛らしさを感じました。

なぜ弊社の刀をお選びいただけたのでしょうか?

猪岡様: 刀の大小関わらず、刀の魂がしっかりしている刀が他のお店に比べて頻度が多く大名の皆々様の心根に曳かれて刀達がやってくるのではないかと感じております。また商品として以上に、刀や鎧に魂があると思われて扱われておられるのではないかと感じ、商売人の嫌らしさや粗略に扱ったような跡がなく、刀達が生き生きしています。無銘在銘問わず安心して刀達が次の持ち主を待っている感じがして、拝見させていただいているときも気持ちいい感じが伝わってきます。まだ腰の物の数が足りないので刀貯金が貯まったらまたまたお邪魔させていただければ幸いです。



冗談を交えながら、お話を下さり、とても楽しい時間を過ごしました。猪岡様は、時に刀からパワーを頂いているとおっしゃっていました。弊社の社長も時々、甲冑を見ていると力が湧いてくると言っています。ただ甲冑が好きだからだと思っていましたが…。パワーをもらっていたのかもしれないね。お客様にも商品を通じて少しでもパワーをお届けできれば嬉しいです!! 貴重なお話や、体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。



お悩み事や、神道のお話にご興味のある方は、こちらをご覧ください。

かずみなしんとう 和源神道 〒715-0017 岡山県井原市下稲木町字金神2434-1
<http://www.ibara.ne.jp/~konzin/>



ご挨拶

2019年も「有限会社 大名」をご愛顧いただき誠にありがとうございました。早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。皆様にとって2019年はどんな一年でしたでしょうか?皆様が体調を崩さず、笑顔で2020年を迎えられますよう願っております。

それでは恒例の年末に一句… 「かくすれば かくなるものと知りながら やむにやまれぬ 大和魂」という吉田松陰の句をアレンジしまして

かくしても かくしきれぬと知りながら
あふれる文才 大和魂(笑)
ハナエモン

今年も、無事にニュースレターの記事を書き終えることができました。これもひとえに読んでいただける皆様の応援やげましののおかげです。ありがとうございました。来年も引き続き「語りますっ!大和魂」をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。

件名: ニュースレター返信と入力して送信して下さい。



最新情報はホームページ <https://daimyou.com/>

有限会社 **大名**

広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp
TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

こんにちは、島谷貴子です。
 12月のお忙しい時期ではありますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
 少し手を休めて、一息つかれてはいかがでしょう？
 「語ります！大和魂」と共に・・・
 今年も沢山のご意見、ご感想をお寄せいただきありがとうございます。貴方様に読んで頂けていることが
 実感でき、大名一同とても嬉しく思っております。さて今回の「語ります大和魂」ですが、前回は「直刃」、
 今回は「乱刃」について語らせて頂きます。

語ります 大和魂

こんなにも？

基本の文様は、湾れ、互の目、丁子よりなっています。


主な乱れ刃

これらの刃文がいくつか混ざり合い、
 数十種類にもなると言われています。

- 湾れ刃
- 互の目刃
- 丁子刃
- 皆焼刃
- 矢筈刃
- 箱乱刃
- 簾刃
- 瓢箪刃
- 数珠刃
- 濤瀾刃
- 菊水刃

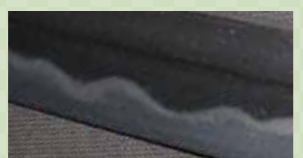

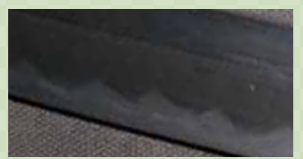
～湾れ刃～ いつから？

鎌倉末期より始まり、南北朝時代には相州派が確立していたとされて
 います。ゆったりとした大湾れに下記の互の目が混じった刃文が、戦国
 時代から江戸初期にかけて、武将に好まれていました。

写真	有名な刀匠	主な時代
 <p>この波が 小さいものを 「小乱れ=小湾れ」 大きいものを 「大乱れ=大湾れ」 といいます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相州貞宗(相模/神奈川) ・相州行光(相模/神奈川) ・堀川国広(山城/京都) ・正広(肥前/佐賀) 	鎌倉末期

～互の目～ いつから？

鎌倉末期より始まり、美濃・備前派より起こったとされています。
 凹凸の波模様が、作刀地域、時代の流行によって、様々な形に変化して
 いきました。

写真	有名な刀匠	主な時代
 <p>互の目 規則正しい波の凹凸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小互の目 ・大互の目 ・吉井派(備前/岡山) ・直江志津兼友(美濃/岐阜) ・石州直綱(石見/島根) ・越前康嗣(越前/福井) 	鎌倉末期
 <p>三本杉 互の目が乱れた刃文で、 凹凸の先の3本目が高く 尖っているもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関兼元(美濃/岐阜) ・越前関(越前/福井) ・陀羅尼勝国(加賀/石川) ・陸奥守兼信(美濃/岐阜) 	室町
 <p>肩落互の目 片方の角が落ちたように 見え、のこぎりのような凹凸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長船景光(備前/岡山) ・長船兼光(備前/岡山) ・大慶直胤(武蔵/東京) 	鎌倉末期 江戸

刀を手に取り、刃文を見てみますが、直刃と乱刃の違いは判ります。乱刃にこんなに種類があることに驚きました。
 強度が高い為、主に実践用に作られてきた直刃。一方、乱刃は、実践用に限らず世界にたった一振り
 の刀を求めた刀匠の想いによって、幾つもの刃文が生まれたのだと思います。
 使用する側も、誰も持っていない、世界にたった一振りの最高の刀を求めたのではない
 でしょうか？そしてその想いに応えようと、刀匠も腕を振るったのではない
 でしょうか？

有名武将が好んで「この刀匠に作らせろ」と言わせしめた刀匠は一体誰だったのでしょうか・・・
 皆様のお考えはいかがでしょう？「私はこの刀匠●●だと思いますよ!」「この武将には、
 この刀匠●●でしょう!」等、ご意見お待ちしております。 どしどし、お寄せ下さい。(^_)



ハナエモンのタ～イムスリッブ!

今号もお客様からリクエストをいただいたので、この方にタ～イムスリッブ!



家康の従兄弟は、倫魁不羈 水野勝成

名将言行録(192名の武将について記載してある幕末の書物)に
 そう評されている男。意味は、「あまりに凄すぎて、誰にも縛ることが出来ない。」
 1564年～1651年

手柄を挙げればいいんでしょ!?

初陣で16歳の時、15の首を挙げるなど、戦場で活躍を
 していた勝成。20歳の時に、小牧・長久手の戦いに参加し
 ます。眼痛のため兜を着用せずに出陣しようとするが、父が「兜も着用せずに出陣するなど、馬鹿者か!」と
 叱責すると「兜を着用していても、割られて死ぬかは時の運。一番首を取ってくるか、命を取られるか？
 見とくがよい!」と兜を着用せず、一人で飛び出して行き、見事に一番首を取り戻ってきたそうです。
 小牧・長久手の戦いが、膠着状態となると、暇を持て余した勝成は家臣に「女を呼んで酒を呑もう」と提案しま
 すが、「陣中において、何をお考えですか?」と云われたことに激高、怒りに任せて家臣を斬り殺してしまい、水野家
 から追放されてしまいます。併せて、父から他家への奉公も出来ないように、通達を出されてしまいます。

名だたる武将を転々と

水野家を追放された勝成は、虚無僧になったり、
 姫谷焼の職人をしたりしていました。
 京都では、大きな喧嘩をして沢山の人を殺害したとも云われています。その後、
 はしばひでよし → せんごくひでひさ → さっさなりまさ → くらだ かんべえ → こにしゆきなが → かとうきよまさ → たちばなむねしげ
羽柴秀吉 ⇒ **仙石秀久** ⇒ **佐々成政** ⇒ **黒田官兵衛** ⇒ **小西行長** ⇒ **加藤清正** ⇒ **立花宗茂**
 といった、名だたる武将の元を転々としてます。どの武将の元で働いても、戦場では相変わらず大活躍なのが
 勝成の凄さ。追放されてから15年後、徳川家康の仲介もあり、水野家に戻ることが出来た勝成。
 戻ってきたのもつかの間、父は政争に巻き込まれ、殺されてしまいます。



おにひょうが 鬼日向

関ヶ原の戦いでは、前線で戦うことは出来ませんでしたが、功績を認められ、
 従五位下に叙任され、「日向守」を名乗ることになります。「日向守」は
 明智光秀が与えられていたものだったので、逆臣、縁起が悪いと名乗るものがい
 ませんが、勝成は「そんな関係ね〜!」とばかりに、気に入って名乗っていた
 そうです。戦場での活躍ぶりから、「鬼日向」と呼ばれていたそうです。
 大阪夏の陣では、家康から「一軍の将なのだから、昔のように先頭に立って戦
 ってはならぬぞ!」と厳しく言われていたにも関わらず、それを家康からの「振
 り」だとも思ったのか、当時50歳の勝成は、変わらず最前線で戦っていた
 そうです。それが家康の怒りを買って、恩賞として2～30万石は貰えるはずが、
 6万石しか貰えず・・・。納得がいけない勝成は直談判をしに行きますが、
 二代目将軍となる秀忠に「父(家康)の隠居後には10万石を約束する」と説
 得されます。



55歳の時に、福山10万石の藩主になった勝成。減茶苦茶な前半生からは、想像もつかない
 善政を行ったそうです。放浪時代の人脈を活かし、有能な家臣を登用していきま
 した。江戸の上水道に次ぐ、上水道を福山で整備したり、全国初の藩札を発行
 したりもしました。イグサの生産を管理し、備後表と呼ばれる高級畳を名産品
 にしたりもしています。勝成の政策のおかげで、10万石が15万石に増えた
 そうです。別人のようなお殿様振りですね!